



たいぎ 議会だより

No203
2026
令和8年
1月発行



第4回定例会

子育て世帯に商品券配布……………P2～3

一般質問

5名の議員が5項目を問う……………P4～6

「町有地の利活用と産業用地等の確保」「町の脱炭素社会とクワジットの取り組み」など

11月21日、もいかわ山森林公園展望デッキの完成お披露目会が行われました。
展望デッキからは、雄大な日高山脈や大樹町の街並みを一望することができます。
ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。
(写真提供：地域おこし協力隊 小川 令入氏)

発行／北海道大樹町議会
編集／大樹町議会広報広聴常任委員会

へ家で計応援！ 商品券配布



▲詳しくはこちら！

条例の一部改正や
補正予算など
16件を審議！！

陳情書の審査報告

第3回定例会にて総務常任委員会に付託され、「継続審査」とされた陳情書は、その後、調査・審議を経て全会一致で「趣旨採択」としました。

福祉センターの維持管理運営について

福祉センターは避難所、寄り合いの場所、コミュニケーションを深める場所として重要施設であり、建て替えや新築に向けた行程を早急に町民に示すべきだと考える。このことを議会の中で取り上げ、議会の総意として町に働きかけることを希望する。

第3回定例会3日目（9月12日）

前回の調査から年数が経過しており、再度調査検討が必要とのことから継続審査とされた。



総務常任委員会（11月10日）

担当課に聞き取り調査を実施。以下のとおり説明があった。

概要

- ①福祉センターは築50年が経過。老朽化が課題。
- ②防災計画の見直しで、福祉センターの位置付けの整理が必要。
- ③代わりとなる施設があるため、大規模な延命をする優先度は高くない。
一方、地域の寄り合い、多世代交流の場などの機能は、何らかの形で引き継ぐ必要があると認識。



聞き取り調査内で質疑応答も行われた。

聞き取り調査で得た内容をもとに、陳情を審議。

委員会としては、

- 総合計画見直しの中で福祉センターの位置付けを、早い段階で分かりやすく示すこと。
- 集いの場としての機能が途切れないよう、将来の複合施設等の検討を進めること。
これらを町に求める。

そのうえで、現時点で大きな改修や建て替えを求めることは適切ではないと判断。趣旨には理解と共感を示し、具体的な整備は計画見直しの中で整理すべきとの観点から趣旨採択とした。

第4回
定例会

議案審議

12月2日～12月5日開催

子育て世帯 物価高対策

行政報告に対する



質疑と答弁



問 安田 清之 議員

9月26日開催の町長と語る会では、どのようなご意見が出されたか。

答 黒川町長

障がい者施策についてのご意見があった。町内で障がい者が働ける施設はないのか、あるいは自分が高齢になったとき、子どもが心配なのでなにか施策はないか、など。障がい者福祉計画もあるので、そちらに基づきながら対応したいと回答した。

12月2日・5日

一般会計予算 **6億9,824万5,000円**を追加補正

子育て世帯の家計を支援

物価高騰対応重点支援事業

子育て世帯に対し、高校生までの子ども1人あたり1万円の商品券を配布するための予算654万6,000円を増額補正。



不振が続く漁業を支援

大樹町漁業振興事業

海中飼育用いけすを整備する大樹漁業協同組合に、導入費用2分の1を助成する41万7,000円を増額補正。



高校生の受入体制を整備

教育振興事業

大樹高校に道外など遠方から入学する生徒が住むシェアハウスの整備費用1,542万8,000円を増額補正。



1棟あたり2名を受け入れ予定。

公共交通を支える取り組み

企画調整推進事業

バス路線を維持するための、十勝バスへの令和7年分補助金の不足分53万6,000円を増額補正。

問 西田 輝樹 議員

人口減少による乗車密度低下で補助金増と認識するが、高齢化で路線バスへの依存も高まる。町の対策は。

答 黒川町長

利用者増が望ましいが、決め手に欠ける。町とバス会社の協議会で今後協議しながら、取り入れられる対策は入れていきたい。

町民の声を町政に届ける

西山弘志 議員 P4

◎ごみ排出量の削減対策について



播間章浩 議員 P5

◎町有地の利活用と産業用地等の確保について



辻本正雄 議員 P6

◎町の脱炭素社会とJフレジットの取り組みについて



菅敏範 議員 P5

◎部活動の地域移行実施について



志民和義 議員 P6

◎火葬場の維持管理と改築の計画について



※内容は要約して掲載しています。
詳しくは、二次元コードより議会中継をご覧ください。

◆一般質問とは◆

一般質問は、町の事務や事業に関して質問できる大事な議員活動の場です。
年4回の定例会に行い、臨時会ではできません。

・質問時間は30分

大樹町議会では、議員が質問できる時間は一問につき30分以内です。答弁に制限時間はありません。

・一問一答方式

議員と町長が対面して、一つ質問をして、一つ回答をします。

・事前通告

質問したい議員は、前もって質問内容を記した「事前通告書」を提出しなければなりません。

・登壇順（質問順）

原則として、通告書の提出順に質問します。

質問

事業系ごみ排出量が多いことの対策について

答

町の施設で減らし、他事業所にも広げる



にしやま ひろし 議員

Q1 ごみ排出量の削減対策について

質問 令和10年度から始まる可燃ごみ広域化処理に関し、ごみ排出削減対策について。

大樹町は十勝管内19市町村のうち人口は12番目だが、建設費分担額は5番目で分担率2・25%と高い。
物価高騰に伴い、今年すでにインフレスライド条項が適用され分担金が引き上げられているが、今後さらに増額される見込みがあるのか。

答（西尾住民課長） 今後、追加の引き上げについては、物価動向次第であるが、現時点での情報は聞いていない。
質問 南十勝衛生環境センターに勤めている方の雇用の影響は。

答（松木副町長） 影響はあると思われる。焼却はなくなるが、持ち込みごみ対応などがあるので、担当者との話を聞き今後の検討事項になる。

質問 他町村と比べ、家庭系より事業系ごみの割合が高いのは大樹町だけで、持ち込みごみ有料化後も事業系ごみが増加し、その結果、1人当たりごみ排出量が管内1位となっている。事業所に向くなど徹底した指導が必要だと思ふが。

答（黒川町長） まず町の施設から出るごみを減らす努力をし、他事業所にも広げていく。

質問 ごみ排出量の削減として、生ごみのリサイクルが考えられる。堆肥化施設で堆肥化し減量する独自処理、地産地消の取り組みについて。

答（黒川町長） リサイクルをしている町村の視察も行ってきている。町全体で生ごみ処理をやるかは先の議論。将来的には検討を進めていきたい。

質問 令和10年度までのごみ排出量削減目標は、管内人口12番目であれば、排出量も12番目を目指してほしい。
答（黒川町長） 目標は掲げていないが、検討していきたい。

ここが聞きたい！ 一般質問



菅 敏 議員

質問

休日の地域移行の進捗状況は

答

モデル事業で平日から定着させていく

Q1 部活動の地域移行実施について

質問 地域移行のモデル事業としてスタートした陸上競技と茶道は、外部指導者が休日にとのように対応しているか。

答 (井上社会教育課長) 陸上競技は、7月から毎週火曜日に、夏休みは平日の午前中に小学生6名を含め合同練習している。外部指導者は、町職員3名が参加している。茶道は、第1第3水曜日の放課後に、小学生1名中学生1名に町職員・小学校教員・民間の方の3名で対応している。

質問 国のガイドラインは休日を先行させ、その後に全面移行する考えでなかったか。

答 (沼田教育長) 本町のモデル事業は、平日から定着させていく考えでスタートしたので、現在は休日の実施は考えていない。休日の展開は、今後、道教委から情報をいただき取り組んでいく考えである。

質問 運営形態と指導者の確保はどのように考えているか。

答 (沼田教育長) 町教委が地域の指導者と連携しながら、町村型の運営で進めている。今後は、取り組みを検証し、組織体制の在り方を検討していく。現在登録している外部指導者は15種目20名となっている。

質問 団体種目の地域移行では、近隣町村との連携が必要と考えるが、協議は進んでいるのか。

答 (沼田教育長) 南十勝の町村では連携の必要性は共有しているが、運営体制、責任の所在、移動手段、財政負担などで課題があり、今後スピード感をもって協議を進めていきたい。

質問 地域移行に対する町職員の対応と地域おこし協力隊の採用についてどのように考えているか。

答 (黒川町長) スポーツ指導ができる職員もいるので、勤務時間中の職務専念義務免除制度の活用が可能であり、協力できる体制をとりたい。また、協力隊の採用についても、十分視野に入れて考えたい。



はりま あきひろ 播間 章浩 議員

質問

町有地を活用した人口減対策を！

答

インパクトある活用を協議したい

Q1 町有地の利活用と産業用地等の確保について

質問 町内に存在する未利用の町有地の今後の利活用について。

答 (黒川町長) 旧日方団地跡地は令和8年度以降に、宅地分譲することで準備を進めている。他の未利用地は企業進出などのニーズに応じて活用していきたい。

質問 鏡町の母と子の家周辺の土地と双葉町の団地の活用について。

答 (黒川町長) 母と子の家は老朽が進み、いずれ更新が必要。その時に企業誘致などに活用することも検討したい。双葉町の団地の活用は他の有効な使い道を今後検討していきたい。

質問 大樹町の人口が減少し5千人を切るのも間近になっている。危機感を持った思い切った政策で未利用地の無償貸付・無償譲渡という制度設計も必要では。

答 (黒川町長) 無償譲渡等も一つの方法だが、定住者とのバランスが必要。移住者向けマイホーム支援や空き家購入支援のプレミアム拡充を検討する。

質問 未利用地を町民農園のように活用するのも一つと考えるがいかがか。

答 (黒川町長) ニーズが多く要望があれば考えてみたい。

質問 人口減少対策の更なる強化と地域産業振興の観点から、新規企業の進出に対応する工業団地・産業用地の確保と整備が必要であると感じているが、その考えは。

答 (黒川町長) ロケット射場の整備を進めており、来年9月の完成以降はロケット打ち上げ事業が本格化し、それにあわせて宇宙関連事業による人の往来や経済活動が盛んになることを期待している。様々な状況を考慮しながら、必要な時期に産業用地の確保など取り組みを進めていく。



志民 和義 議員

Q1 火葬場の維持管理と改築の計画について

質問 南十勝複合事務組合が管理運営に当たっている火葬場の維持管理と今後の改築計画について、老朽化に伴う改築も検討しているとお聞きするが、その考えは。

答 (黒川町長) 現在の火葬場は築50年以上が経過し、老朽化が進んでいる。火葬炉は修繕を行って対応し、他の施設・設備は必要最小限の修繕で対応している。今後の改築計画は、南十勝複合事務組合や構成町で他自治体の施設の視察調査、メーカーからの聞き取りをし、改築に向けた施設整備の方向性を検討している。財政状況を見ながら構成町と改築に向け協議を進めていく。

質問 改築に向けた協議にあたり、具体的な中身は。例えば控え室の和室は、時代に合わせ椅子やテーブルにする方向で検討されているのか。

また、近年は火葬炉の使用件数が多くなっており、使用頻度も高いと考える。早急に改築の方向性を示すべきと考えるが。

答 (黒川町長) 最近の施設を見ると和室でなくテーブル・椅子のところが多いので、参考にしたいと考えている。燃料についてもバイオガスの燃焼実験で成績は良かったが、単価が高いため、プロパンガスなども含め価格などを踏まえて慎重に考えていきたい。

整備については諸般の兼ね合いがあつての建設になるが、財政状況を見ながらになると思う。火葬件数は平均90件程度であり、火葬炉の基数なども検討していく。今の火葬場が使用できるので、実施時期については今後の協議で早期に固めていきたい。

質問 脱炭素社会の取り組みについて



辻本 正雄 議員

Q1 町の脱炭素社会とJクレジットの取り組みについて

質問 スマート街区施設の熱源使用状況と利用金額について。

答 (黒川町長) 熱源利用は、小学校、生涯学習センターに暖房用、町民プールに温水を利用し、木質チップは1023㎡、燃料費は640万円となっている。

質問 木質チップ価格を下げる為に入札制度等の考えは。

答 (黒川町長) 地域内振興もあり現在は考えていないが、市場価格とのかい離があれば検討したい。

質問 Jクレジットの販売実績と今後の計画について。

答 (黒川町長) 晩成温泉に於いて519tのクレジット認証を受け469tを65万8千円で販売した実績があり、今後の計画はスマート街区に於いて認証コストを考慮し慎重に検討したい。町有林のクレジットは各自治体と連携した共同創出を協議中であるが、町単独での創出も検討していきたい。

質問 町全体としての今後の方針について。

答 (黒川町長) 大樹町再生可能エネルギー導入計画に沿って畜産バイオガスや木質バイオマス等の地産地消エネルギー循環システムの構築を図るため、関係事業者と協議を進めていく。しかし、バイオガスプラントの導入に係るコストが高く、農家が取り組むのにハードルが高い面もあるが、情報収集しながら取り組んでいきたい。

高校生議会に向けて

● サポート授業の実施（10/9）

10月21日に開催された高校生議会に向けた準備として、広報広聴常任委員6名と議長が大樹高校を訪問し、サポート授業を実施しました。

町長や教育長の答弁書をもとに高校生が再質問を作成し、委員から作り方やコツについてのアドバイスが出されました。

当日の議会では、作成した一般質問・再質問を用いた多くの意見が出され、若い世代ならではの目線から活発な議論が行われました。



再質問を実際に見てアドバイスする様子



コミュニティバス「コスモ」の増便について質問する11班



**次の定例会は
3月です**

ぜひ気軽に傍聴にお越しく下さい

詳細は議会事務局へお問い合わせください

TEL 6-5035

**請願・陳情は
どなたでもできます**

議会は、住民の代表機関として、民意を広く行政に反映させるため、国や町の事務などに関する請願・陳情を処理することとなっています。

請願とは、憲法に規定された国民の権利として公の機関に対し、要望する行為で、紹介議員が必要となります。陳情も同様に扱われますが、紹介議員は必要ありません。

して — 委員会活動報告 —

解決を目標とした所管事務調査・行政視察を行っています。

公衆トイレの調査・検討を議会独自で行いました。

※内容を要約して掲載しています。

総務常任委員会 | 所管事務調査 (7/24)

調査目的 郊外公衆トイレ改修の必要性を検討し、あり方を整理

■調査場所

- ・生花
- ・晩成
- ・歴舟（下芽武）
- ・浜大樹
- ・旭浜
- ・カムイコタンキャンプ場
- ・石坂
- ・尾田
- ・開進墓園
- ・もいわ山森林公園

計10か所の公衆トイレを実際に確認。

後日、担当課への聞き取り調査を行った。



石坂公衆トイレ



尾田公衆トイレ

■調査報告

- ・生花、歴舟、浜大樹、旭浜は臭気が強い。
原因は床面給気口の閉塞など換気経路の不全、清掃手順のばらつきと推測。
- ・生花、もいわ山は虫の発生や死骸あり。採光不足も快適性を損ねている。
- ・和式、汲み取り式中心はニーズとかけ離れている。
- ・立地、視認性、駐車条件が利用頻度を左右することも確認。

■担当課への質疑・回答

Q. 公衆トイレの廃止・統合の協議の有無は。

A. 現時点ではなし。

Q. 廃止の考えはないとのことだが、行政区長会議などで話題にならないのか。

A. これまで確認はしていない。

実際の利用については行政区に確認し、施設のあり方を検討しなければと考える。

■委員報告 (一部抜粋)

- ・郊外公衆トイレの根本的な課題として、設置目的が地元住民の現在のニーズから外れてきている事、駐車場が完備されていないことなどが考えられる。
- ・一部公衆トイレは見えづらく、これからのことを考えると取り壊しも考えなければいけないのでは。

まとめ

- ・当面の対応として、換気対策の標準化を図るとともに、採光、照明、案内サイン、虫対策を早期に実施すること。
- ・各施設における汲み取り作業の実態把握、利用実測、行政区への意向確認を行うこと。
- ・一部公衆トイレの廃止、休止を検討すること。
- ・生花トイレ機能を周辺施設へ統合すること。

以上を町に提言する。

暮らしやすいまちをめざ

大樹町議会では町政の実態や課題を調査し、委員会活動での提起・もいわ山森林公園展望デッキの完成による観光需要を見越し、

総務常任委員会 | 行政視察 (9/26)

調査目的 もいわ山森林公園展望台のバイオトイレ導入可否を検討

■調査場所

- ・十勝港、大丸山森林公園頂上展望台(広尾町)、幌満川上流(様似町)に設置してあるバイオトイレ(※)を視察。
※バイオトイレ…おがくずに生息する微生物により、排泄物の分解を行うトイレのこと。
水を使わないため省資源であること、設置が容易といったメリットがある。

■調査報告

- ①十勝港……………利用は釣り客中心で少数。身体障がい者用も整備され、バリアフリー性は高い。設置費に対し利用が限定的で、費用対効果は低め。
- ②大丸山森林公園…階段の段差が20cmと高く、バリアフリー改善が課題。価格は手ごろで運用上の課題は小さい。
- ③幌満川上流……………清潔に維持され、設備状態良好。利用頻度は少ない印象で、高コストが想定される。



■委員報告 (一部抜粋)

- ・バイオトイレ最大の利点は、水を使用せず臭気を抑えられ、環境に優しいとある。しかし、おがくずの処理能力を超えると交換頻度が上がることや、設置費用が高額、汲み取りが可能な立地や季節利用ではメリットが乏しいと感じた。
- ・十勝港内のバイオトイレは身体障がい者対応の誰もが利用しやすいトイレであり、大変参考になった。

まとめ

- ・もいわ山展望台のトイレは、需要が不確定なので当面は既存トイレと周辺トイレの周知で対応し、需要が確認された際に慎重に判断すること。
- ・バイオトイレの安易な採用は避け、仮設水洗等を含め検討すること。
- ・設置を検討する際は、「臭気抑制、清潔、明るさ、バリアフリー、小児配慮、雨水侵入防止」を必須要件として、時代の変化に応じて改善サイクルを継続すること。

以上を町に提言する。

今回の所管事務調査・行政視察で得た課題を今後の議会活動に活かし、より地域課題に即した質の高い議会運営を目指します。

第4回
臨時会

議案審議

9月25日開催



▲詳しくはこちら!

補正予算、
契約変更の
2件を審議!!

一般会計予算 **1,539万4,000円**を追加補正

事業専従者へ4万円を支給

低所得世帯への支援給付金事業

定額減税対象外の事業専従者へ、1人あたり4万円を支給するほか、不足分調整給付金を支給する1,539万4,000円を増額補正。

避難所の暑さ対策を実施

災害支援体制構築事業

避難所の暑さに対応するため、スポットエアコン3台を購入する費用49万円を財源組替。
※予算の合計額に増減なし。

第5回
臨時会

議案審議

12月23日開催



▲詳しくはこちら!

条例の制定や
補正予算など
4件を審議!!

一般会計予算 **1億1,300万2,000円**を追加補正

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用

水道基本料金6か月分を免除

住民、町内事業所を対象に、水道基本料金6か月分を免除するための補助金4,438万5,000円を増額補正。

子育て応援手当を給付

子育て世帯を支援するため、高校3年生までの子ども1人あたり2万円を支給する費用1,447万3,000円を増額補正。

プレミアム付商品券を発行

地域経済や住民生活を下支えするため、プレミアム付商品券を発行するための経費5,138万9,000円を増額補正。

給食費を免除

小中学生の子どもを持つ世帯に対し、今年度の給食費（第9期、第10期）を免除する。
（予算額の増減はなし）

北海道スペースポート整備工事の契約変更について

北海道スペースポート整備工事に係る請負契約について、工事内容の見直しなどにより、契約金額を次のとおり変更しました。

変更前	変更後 (第4回臨時議会にて議決)	変更後 (第5回臨時議会にて議決)
6億2,935万4,000円	7億6,217万9,000円	13億3,802万9,000円

○変更となった理由

ロケット組立棟の外壁材など、資材の調達に時間を要することから令和8年度発注分を一部前倒し、事業量が増加したため。

議会運営委員会活動報告

住民懇談会

『まちづくりや暮らしについて、みんなで話そう』をテーマに懇談

12月11日、全町民を対象に懇談会を開催しました。延べ7名の方々にご参加いただき、町や議会へのご意見・ご要望をいただきました。

懇談の内容を抜粋してお知らせします。



■住民の皆さんの声

- ・物価高の影響で、生活の格差が出ている。高齢者の一人暮らしでは特に差が大きい。
- ・町内会から、福祉センターは避難所としての機能があるのかという意見がある。
- ・もいわ山展望台が整備されたが、整備に物足りなさを感じる。通行止めの看板が風で動くなど、安全面が不十分。
- ・松並町の道路は舗装状態が悪く、整備されていない。陳情をあげたことがあるが改善されない。
- ・雪印付近の交差点は、信号がないため横断がしづらく危険。高規格道路の整備により交通量は増えると思う。
- ・歴舟川の水量が減少していることにより、食物連鎖ができなくなっている。
- ・町民憲章や町歌は大変良いものだが、存在を知らない町民が増えている。
- ・町は森林組合に対し助成金を支出しているが、森林組合は経営改善されていると感じている。そのため、助成金の必要性に疑問を感じている。

■町・議会への具体的な提言

- ・高齢者に対する生活支援を行う考えは。
- ・福祉センターに非常用発電設備を整備してほしい。
- ・もいわ山森林公園をより充実させる考えは。車両侵入対策など安全対策を要望する。
- ・議会議員は現場を見て、必要であれば町長に対してきちんと意見を言うべき。
- ・道路の舗装などインフラの整備を見直すべき。
- ・川の水量維持には、山から変えることが必要と考える。木の一部を広葉樹に植え替える対策は、町としてできるのか。
- ・広報紙などで定期的に町民憲章の周知をしてほしい。
- ・森林組合への助成金を見直しては。
- ・教職員住宅を整備する考えは。学校近くに住宅を整備すれば、熱意のある教員に来てもらえるのでは。

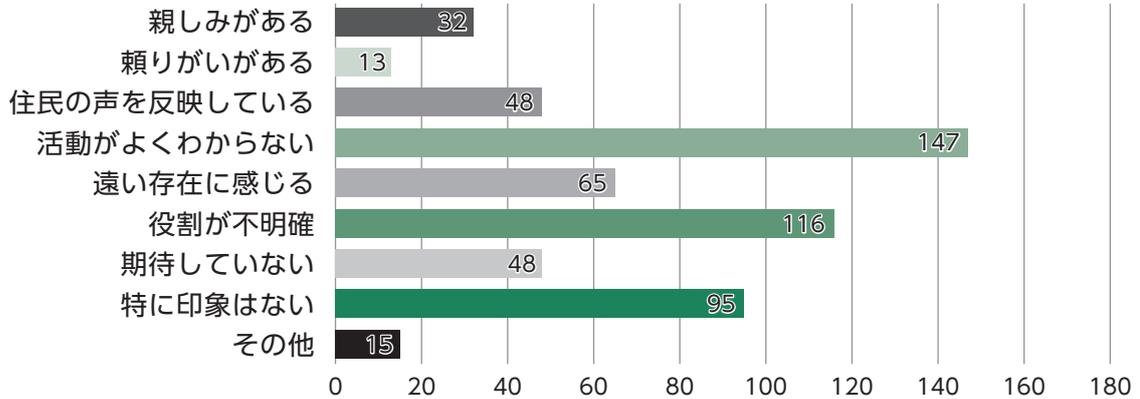
懇談内容は議会と町で共有しています。
いただいた意見や要望は、議員の一般質問や常任委員会の所管事務調査などの議会活動に活かし、より地域課題に即した議会運営を目指します。



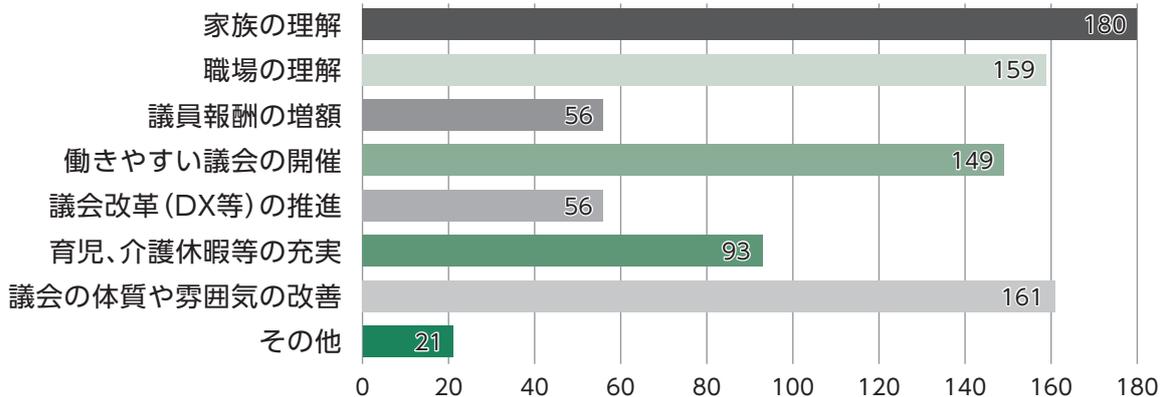
特別委員会 — 活動報告 —

議会改革の調査・研究を行う本委員会では、町民の皆さんのご意見を参考に
するアンケートを行いました。結果を抜粋して報告いたします。

◆議会への印象は？（複数回答可）

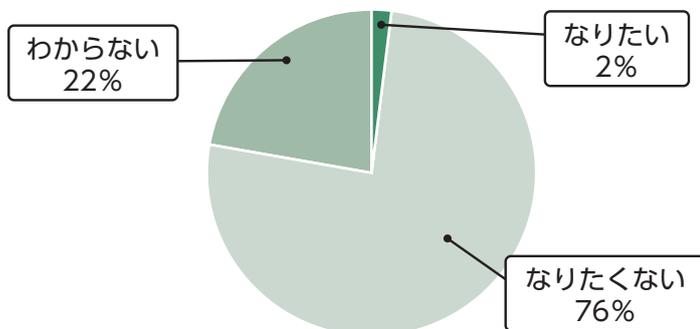


◆議員のなり手を増やすには何が必要？（複数回答可）



◆あなたは将来議員に…

なりたい……………8件
なりたくない…279件
わからない……79件



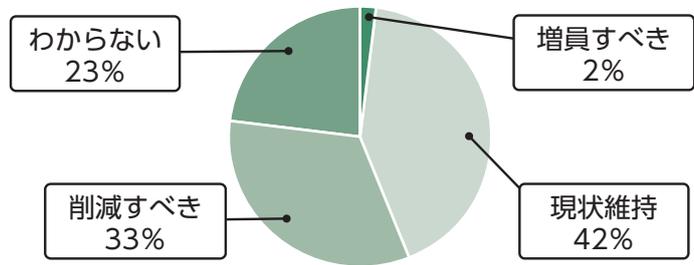
回答にご協力いただき、誠にありがとうございました。
本特別委員会は皆さんからの貴重なご意見を参考に、今後も調査を進めてまいります。

議会改革に関する調査

調査対象：15歳以上の町民 対象者数：900人 抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出
 調査方法：郵送による無記名アンケート調査 回答者数：366人 回収率：40.67%

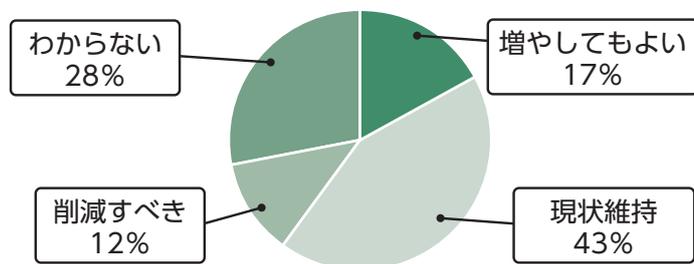
◆議員定数について

増やすべき ……6件
 現状維持 ……155件
 減らすべき ……121件
 わからない ……84件



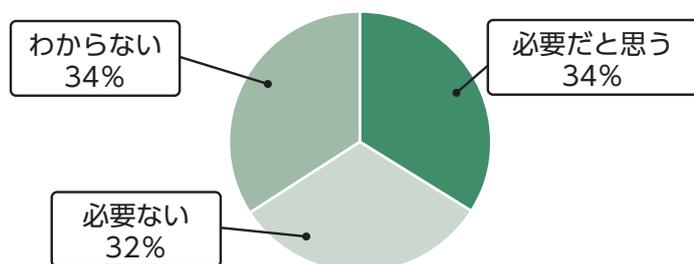
◆議員報酬について

増やしてもよい ……61件
 現状維持 ……158件
 減らすべき ……44件
 わからない ……103件



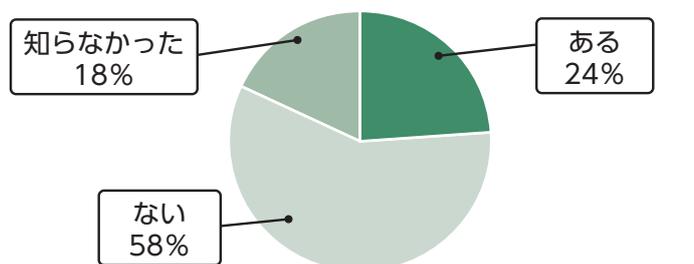
◆政務活動費について

必要だと思う ……125件
 必要ない ……117件
 わからない ……124件



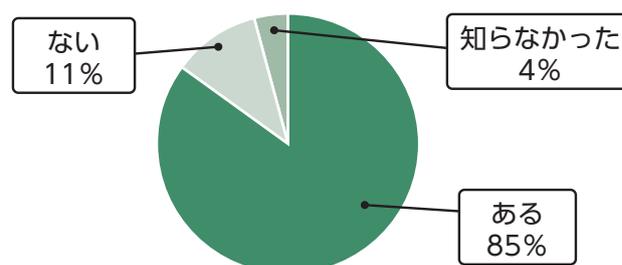
◆議会のインターネットの動画配信を見た事が...

ある ……88件
 ない ……212件
 動画配信を知らなかった ……66件



◆たいき議会だよりを読んだことが...

ある ……310件
 ない ……41件
 議会だよりを知らなかった ……15件



会議・行事出席状況

令和7年7月1日から12月31日までに行われた、会議や行事への出席状況をお知らせいたします。行事については、議会へ案内のあったものを掲載しております。

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 ー：対象外

開催日	会議・行事名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		播間	寺嶋	辻本	吉岡	西山	船戸	杉森	西田	安田	志民	菅	齊藤
7月 1日	戦没者追悼式	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
7月 4日	第3回広報広聴常任委員会	—	—	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—
7月8・9日	北海道町村議会議長会 議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
7月14日	第3回経済常任委員会	○	—	—	—	○	○	—	○	○	—	—	○
7月18日	第4回議会運営委員会	○	○	—	○	—	○	—	—	○	—	○	○
7月22日	第4回経済常任委員会・農作物生育状況巡回調査	○	—	—	—	○	○	—	○	○	—	—	○
7月24日	第3回総務常任委員会 所管事務調査	—	○	○	—	○	—	○	—	—	○	○	—
7月25日	第3回議会改革に関する調査特別委員会	○	○	—	—	—	○	—	○	○	—	○	○
7月29日	第5回経済常任委員会 所管事務調査	○	—	—	—	○	○	—	○	○	—	—	○
8月 4日	南十勝町村議会議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月13日	有縁無縁仏諸精霊供養祭	×	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○
8月19日	北海道町村議会議長会 議会広報研修会	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	○
8月22日	第6回経済常任委員会	○	○	—	—	○	○	—	○	○	—	—	○
8月25日	第5回議会運営委員会	○	○	—	○	—	○	—	—	○	—	—	○
	宇部市議会令心会・清志会視察対応	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
	議員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月26日	第6回議会運営委員会	○	○	—	○	—	○	—	—	○	—	○	○
	第4回議会改革に関する調査特別委員会	○	○	—	—	—	○	—	○	○	—	○	○
9月 2日	第3回定例議会 1日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月 4日	第3回定例議会 2日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第4回広報広聴常任委員会	—	—	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—
	決算審査特別委員会 1日目	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—
9月 8日	第4回総務常任委員会	—	○	○	○	—	—	○	—	—	○	○	—
	第7回経済常任委員会	○	—	—	—	○	○	—	○	○	—	—	○
9月 9日	決算審査特別委員会 2日目	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—
9月11日	決算審査特別委員会 3日目	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第7回議会運営委員会	○	○	—	○	—	○	—	○	—	○	○	○
9月12日	第3回定例議会 3日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月17日	広報広聴常任委員会 住民懇談会	—	—	○	○	—	—	—	○	○	○	○	○
9月18日	敬老会	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
9月19日	議員協議会	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月20日	柏林公園まつりレセプション	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
	第8回議会運営委員会	○	○	—	○	—	○	—	—	遅	—	○	○
9月25日	第4回臨時議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月26日	総務常任委員会 行政視察	—	○	○	○	—	—	○	—	—	○	○	○
10月 1日	開町記念式典 表彰式	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○
10月 9日	高校生サポート授業	—	—	○	○	—	—	—	○	○	○	○	○
	第5回広報広聴常任委員会	—	—	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—
10月12日	よしかおふるさと祭り	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	○	—
	高校生議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月21日	津別町議会産業福祉常任委員会視察対応	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
	第9回議会運営委員会	○	○	—	○	—	○	—	○	○	—	○	○
	議員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月23日	安城市議会安城創生会視察対応	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
10月29日	当別町議会議会運営委員会視察対応	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
	第5回議会改革に関する調査特別委員会	○	○	—	—	—	○	—	○	○	—	○	○
10月30日	十勝町村議会議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月 6日	第10回議会運営委員会	○	○	—	○	—	○	—	—	○	—	○	○
11月10日	第5回総務常任委員会	—	○	○	○	—	—	○	—	—	○	○	—
11月19日	第6回総務常任委員会	—	○	○	○	—	—	○	—	—	○	○	—
11月21日	議員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第6回議会改革に関する調査特別委員会	○	○	—	—	—	○	—	○	○	—	○	○
	第11回議会運営委員会	○	○	—	○	—	○	—	—	○	—	○	○
11月25日	第8回経済常任委員会	○	—	—	—	○	○	—	○	○	—	—	○
	一部事務組合定例議会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
11月27日	議友会・議員会懇談会	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
12月 2日	第4回定例議会 1日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第12回議会運営委員会	○	○	—	○	—	○	—	—	○	—	○	○
	第6回広報広聴常任委員会	—	—	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—
12月 4日	第4回定例議会 2日目	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	第13回議会運営委員会	○	○	—	○	—	○	—	—	×	—	○	○
12月 5日	第4回定例議会 3日目	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	第9回経済常任委員会	○	—	—	—	○	○	—	○	×	—	—	○
12月11日	議会運営委員会住民懇談会	○	○	—	○	×	○	○	○	×	○	○	○
12月17日	第10回経済常任委員会 所管事務調査	○	—	—	—	×	○	—	○	—	—	—	○
12月18日	議員協議会	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第14回議会運営委員会	○	○	—	○	—	○	—	—	○	—	○	○
12月23日	第5回臨時議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一目でわかる 審議結果



全会一致の議案

第4回臨時会	令和7年度大樹町一般会計補正予算（第5号） 歳入歳出それぞれ1,539万4千円を追加。	原案可決
	工事請負契約事項の変更 北海道スペースポート整備工事請負契約事項の契約金額を6億2,935万4千円から7億6,217万9千円に変更。	原案可決
第4回定例会	大樹町表彰条例等の一部改正 文化、スポーツ、産業等において輝かしい活躍をした町民等に対し、町民栄誉賞を創設することによる条例の一部改正。	原案可決
	大樹町議会議員及び大樹町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正 公職選挙法施行令の一部を改正する政令が、6月4日に公布されたことによる条例の一部改正。	原案可決
	大樹町職員の給与に関する条例の一部改正 国家公務員の給与改定方針の閣議決定に伴う条例の一部改正。	原案可決
	大樹町長等の給与等に関する条例の一部改正 国家公務員の給与改定方針の閣議決定に伴う条例の一部改正。	原案可決
	大樹町議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正 国家公務員の給与改定方針の閣議決定に伴う条例の一部改正。	原案可決
	大樹町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正 児童福祉法の一部改正に伴う内閣府令の改正に伴う条例の一部改正。	原案可決
	大樹町火入れに関する条例の一部改正 気象庁が発表する気象情報の変更に伴う条例の一部改正。	原案可決
	令和7年度大樹町一般会計補正予算（第6号） 歳入歳出それぞれ6億9,494万5千円を追加。	原案可決
	令和7年度大樹町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ219万3千円を追加。	原案可決
	令和7年度大樹町介護保険特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ403万1千円を追加。	原案可決
令和7年度大樹町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ587万7千円を追加。	原案可決	
令和7年度大樹町水道事業会計補正予算（第2号） 収益的支出を389万8千円減額。 資本的収入を95万円、資本的支出を202万9千円減額。	原案可決	
令和7年度大樹町立国民健康保険病院事業会計補正予算（第1号） 収益的収入・支出をそれぞれ153万7千円追加。 資本的収入・支出をそれぞれ122万7千円追加。	原案可決	

次のページへ続く

第4回定例会	令和7年度大樹町下水道事業会計補正予算（第1号） 収益的支出を24万3千円追加。 資本的支出を35万2千円追加。	原案可決
	令和7年度大樹町一般会計補正予算（第7号） 歳入歳出それぞれ330万円を追加。	原案可決
	福祉センターの維持管理運営について（陳情） 現時点で「今の建物を前提とした早期の大規模リニューアルや建て替え」を町に求めることは適切ではないと判断。 陳情の趣旨には理解と共感を示しつつも、具体的な整備手法や時期は計画見直しの中で整理すべきとの観点から、趣旨採択。	趣旨採択
第5回臨時会	大樹町長等の給与の減額に関する条例の制定 町長の月額給与を100分の30、副町長は100分の20をそれぞれ1か月分（令和8年1月分）減額することに伴う条例の制定。	原案可決
	令和7年度大樹町一般会計補正予算（第8号） 歳入歳出それぞれ1億1,300万2千円を追加。	原案可決
	令和7年度大樹町水道事業会計補正予算（第3号） 物価高騰対応重点支援対策として、水道料基本料金3か月分を免除することに伴い、2,127万5千円を財源組替。	原案可決
	工事請負契約事項の変更 北海道スペースポート整備工事請負契約事項の契約金額を7億6,217万9千円から13億3,802万9千円に変更。	原案可決

YouTubeで議会中継をご覧いただけます！

本会議や予算・決算特別委員会はライブ中継しています。
ライブ中継を見られない場合でも、録画中継をご覧いただけます。
スマートフォンやタブレット、パソコンなどで気軽に議会の傍聴
できますので、ぜひご利用ください。
大樹町議会チャンネルをチャンネル登録すると、ライブ中継や
録画中継が公開される際に通知を受け取ることができます。

大樹町議会
チャンネル



広報広聴常任委員会



委員	副委員長	委員	委員	委員	委員
信弘	和義	敏範	清之	輝樹	正雄
吉岡	志民	菅	安田	西田	辻本

編集後記

令和7年の十勝は、天地の神様が人間社会に警鐘を鳴らした一年ではなかったか。

2月の災害級の大雪に始まり、暑い夏は観測史上初の猛暑日の連続、7月のカムチャツカ半島・12月の青森東方沖地震で津波警報、9月に道内初の線状降水帯、最後は12月の湿った大雪と続き、異常気象は日常生活や地域産業に大きな影響を与えている。日頃の備えを今一度見直しませんか。

委員 菅 敏範